2016 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	法務研究科 (法科大学院)			
評価基準 7				
点検・評価項目(1) 7-1 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。				
評価の視点	学生の学習および教員による教育研究環境整備に関する方針の明確化			
	校地・校舎・施設・設備に係る大学の計画			
点検・評価項目(2)	7-2 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。			
評価の視点	校地・校舎等の整備状況とキャンパス・アメニティの形成			
	校地・校舎・施設・設備の維持・管理、安全・衛生の確保			
点検・評価項目(3) 7-3 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。				
評価の視点	図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性			
	開館状況(日数・時間)、座席数、情報検索機器の整備状況とその適切性			
点検・評価項目(4)	7-4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。			
評価の視点	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備			
	技術スタッフなど教育研究支援体制の整備			
	教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保			
	研究会、セミナー、シンポジュウム等の開催および学術雑誌の刊行状況			
点検・評価項目(6) 7-6 教育研究等環境の適切性について定期的に検証を行っているか。				
評価の視点 責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させている				

Ⅱ【点検・評価項目ごとの現状説明】

- 7-1 本法科大学院は、多様性の確保のため、社会人が通いやすい環境と勉学しやすい環境を整える方針を明確化している。図書は「司法試験を受験するにあたって必要な書籍・雑誌・電子媒体をそろえる」との方針を図書委員会が明確にしている。 平成25年度12月理事会において平成27年度からの学生募集停止が決定され、平成26年5月に現在の2/3の広さに縮小されている。
- 7-2 (1) 校地・校舎の整備状況と施設・設備の維持・管理、安全・衛生の確保その他

校舎は JR 信濃町駅ビル 3 階にある。1,427.8 ㎡の床面積に、教室・演習室、学生自習室、教員研究室、図書室等が配置されている(d1-表 5)。土曜・日曜も授業が行われ、社会人の院生に便宜を図るため、8 時半から 23 時 5 分まで施設が利用できるようにしている。教室は清掃を業者に委託し常に清潔に保たれている。警備会社と契約し、保安だけでなく、教職員が不在の場合でも対応できる体制を取っている。防災は、ビル地下にある防災センターと連携を取っており、年 2 回の防災訓練に参加している。信濃町校舎の整備や維持・管理については、管理部管理課が担当している。

- 7-3 法務研究科の図書室は、専有面積 104 ㎡で、閲覧席 8 席、図書検索用端末 2 台、コピー機 2 台を設置している。図書・雑誌の所蔵は、図書 14,103 冊、雑誌(製本含)178 種(B7·30 d2·表 48)。所蔵している資料は、本学の図書システムに登録されており、OPAC で学内外から検索できる。電子媒体は「官報情報検索サービス」を導入している。現在導入している「LLI 統合型法律情報システム」と教務システム TKC には公的判例集等多数のコンテンツを備えている。その他判例百選等 DVD 等もあり、電子媒体を利用できる環境を備えている。開室状況は次のとおり。授業期間は、平日・土曜日は 10 時~22 時、日曜日は 10 時~20 時、休暇期間中は、平日・土曜日は 10 時~20 時、休暇期間中は、平日・土曜日は 10 時~20 時、日曜日は 10 時~16 時。開室日数は 326 日(B7·30 d2·表 49)。
- 7-4 教室は、講義室 3 (内訳は、大教室 1 (64 人収容)、中教室 1 (24 人)、小教室 1 (22 人))、他に、リーガル・クリニック 1 室である(B7-30 d2-表 47)。中教室は PC 教室を兼ね、22 台のパソコンが設置されている。同教室は LAN で接続され、判例検索などが可能である。リーガル・クリニック室は、外部者からの無料法律相談(授業「クリニック」の一環として実施)の場として使用するほか、他の授業でも使用される。院生および既卒の法務研修生用に、108 人分の机を備える研究室(自習室)がある。貸出用パソコンは 9 台。廊下にパソコン 2 台とプリンター1 台を備え、学生が常時利用できる。また、持ち込み用の情報端末用に Wi-Fi でインターネット接続ができる。
- 7-6 施設については、総務委員会及び教授会がその適切性を検証している。図書については、図書委員会が適切性を検証している。

【効果が上がっている事項】

- 7-1 教授会が定期に開催され方針を明確にしている。図書について図書委員会が方針を明確にしている。
 7-2 学生の勉学環境は十分に整備されている。
 7-3 図書等の貸し出しサービス、ネットワークによるデータ検索サービスは機能している。
 7-4 委託業者を使う等、支援スタッフをそろえている。
 - 7-6 施設に関する検証は、教授会や図書委員会が定期的に行っている。

【改善すべき事項】

7-1	学生減少に伴い施設設備の縮小等を実施するに当たり、適切な教育研究環境を確保する。
7-2	
7-3	
7-4	
7-6	

本項目の根拠資料(データ類、裏付けとなる資料)

B7-27 大東文化大学ホームページ (自己点検・評価活動)

http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html

B7-30 大学データ集 《既出》B1-22

<大学基礎データ>

d1-表 2 全学の教員組織

d1-表 5 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

〔追加資料〕

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S: 完全に達成」 「A: 概ね達成」 「B: やや不十分」 「C: 不十分」 で、評価する

	達成目標	目標達成の指標となるもの		
中期目標	7-3 図書室利用環境の維持。	一人当たり貸出回数の維持。		
(2014~	7-4 学生数に応じた学習環境の維	学生数に応じたキャンパス面積、教室数、		
2018)	持。	院生研究室座席の確保。		
	7-4 学生数に応じた学習環境の維	キャンパス縮小計画の計画・スケジュー		
	持。	ル通りの実施。		
14 年度	7-4 学生減少に伴い施設設備の縮小	学生から不満の出ない教育研究環境の確		
目標	等を実施するに当たり、適切な教育	保		
	研究環境を確保する。			
15 年度	同上	同上		
目標				
16 年度	同上	同上		
目標				

٠:	: 个十分」 で、評価する。							
	評価							
	2014	2015	2016	2017	2018			
\rightarrow			A					
\rightarrow			A					
\rightarrow			C					
	В							
		A						
			A					
		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>			